

6 第10章(10)「基地の中の沖縄」

嘉手納基地を訪ねる

鳥塚 義和

1 学習内容

沖縄の米軍基地問題をとりあげ、「基地の中に沖縄がある」といわれる実態を学習させたい。戦前の嘉手納付近の地図と現在の同じ地域の地図を比較することによって、嘉手納基地の歴史と現状について、次のような事実を学ぶことができるだろう。

- ・住民は追い出され、畑などの土地がとりあげられ、広大な基地がつくられた。
- ・現在、基地の中には軍事施設だけでなく、アメリカ兵の居住区があり、住宅、銀行、商店街、学校、教会、ゴルフ場など生活に必要な施設がすべてそろっている。
- ・日本政府の「思いやり予算」が軍事施設ばかりか、米兵家族の私生活にも使われている。

2 学習の視点と教材の準備

かつては嘉手納基地の中の施設を示す地図が紹介されることはなかった。ところが、最近、インターネットのWeb ページ上に詳細な地図が載っている。

http://www.pinsdaddy.com/kadena-afb-housing-map_UfVDV*P42ZTOKQJjEm93wD*1X8ZrBAj2Rzfc650esn8/

それをもとに2万5千分の1地図に施設の位置を記入し、教材を作成した。

だが、嘉手納基地の中を見学する機会はほとんどない。「おきなわマラソン」が基地の中を走ることを知り、フルマラソン挑戦を決意した。1年前からトレ

ーニングを重ね、2009年2月22日、大会に参加し、30km地点の基地の中に入り、写真を撮った。50歳での初マラソン完走というおまけつきであった。

こうした具体的な教材を用意することで、米軍基地の実態に迫ることができるだろう。

3 授業の流れ

① 戦前の地図に米軍基地の範囲を予想して書き込む

1945年6月にアメリカが沖縄を占領し、沖縄の各地に基地を建設していった。黒板に戦前の嘉手納周辺の地図（1921年、陸軍参謀本部作成）を拡大したものを貼り、生徒一人ひとりにもプリントして配布する。太い線は現在の嘉手納町の境界を示す。

〈発問〉 アメリカ軍はこの付近に飛行場を建設した。どこにどれくらいの広さでつくったか、自分の予想する範囲を赤鉛筆で記入しなさい。

なお、嘉手納周辺の地図に基地の範囲を予想して書きこませる手法は、里井洋一氏の先行実践に学んだ（里井洋一「嘉手納町にみる基地」『歴史地理教育』408号 1987年）。

生徒の間を回って、次の4つの典型的なタイプを書いた生徒を確認し、あとで指名する。前に出て、黒板の地図（透明なビニールを上重ねて貼っておく）にボードマーカーで色分けして記入させる。

- A. 海岸線近くの平らなところ。理由：飛行機の離発着に便利。
 - B. 「嘉手納」集落の近く。理由：「嘉手納基地」という地名から。
 - C. 大きな範囲でいくつもの集落を含む。理由：米軍は住民を無視。必要な分だけとる。
 - D. 山側に小さな範囲で集落を避ける。理由：人のあまり住んでいないところ。
- 各自の予想が4つのどのタイプに近いか判断させ、挙手で人数を確認する。



② 現在の地図で基地のようすを読みとる

現在の地図（2005年、国土地理院作成の2万5千分の1地形図）を配り、黒板に拡大図を貼る。

〈発問〉 自分の予想と現在の地図を見比べて、どんなことを感じたか。
「思っていたよりはるかに大きい」という声が圧倒的に多い。米軍は、村の住民を追い出し、集落を破壊して基地をつくったことがわかる。

次の課題と三択クイズを
テンポよくやっていく。

1. 嘉手納基地の周りをぐる
っと赤線で囲もう。
黒板の地図で位置を示し、
写真を見せながら第4ゲート
から反時計回りで記入。
2. 嘉手納基地の大きさはどれ
くらいか。



第4ゲート

東京ディズニーリゾート(TDR)と比較すると。

- ア. 小さい イ. ほぼ同じ ウ. 2倍 エ. 10倍

正解はエ。 嘉手納基地は2,000ヘクタール、TDRは200ヘクタール。

3. 嘉手納町の面積のうち、米軍基地の占める割合は何%くらいか。

正解は83%。

4. 嘉手納基地を管理し動かしているのは、次のどの軍隊か。

- ア. 海軍 (NAVY) イ. 陸軍 (ARMY) ウ. 空軍 (AIR FORCE)
エ. 海兵隊 (MARINE CORPS)

正解はウ。

フェンスに掲げら
れた警告



輸送機に積みこむ軍
用車両

滑走路から飛び立つ
米軍機





5. 滑走路は何本あるか。

正解は2本。 写真を見せる。

6. 滑走路の長さは何メートルか。

縮尺の目盛に注意して定規で測らせる。

正解は 4,000m。 米軍のすべての機種種の離発着が可能。成田空港は 4,000m1本、2,500m1本。

7. F15 戦闘機用のシェルター (カマボコ型格納庫) がある。その位置を確認し、赤で囲みなさい。1994 年当時、建設費は1基4億円。誰が出したのか。

ア. すべてアメリカ

イ. すべて日本

ウ. 日本とアメリカが半分ずつ

正解はイ。 思いやり予算が使われ、最終的に 48 基のシェルターが建設される予定。清水建設が請け負っている。

8. 国道 58 号線を青でなぞってみよう。1972 年に沖縄が日本に返還される以前、「軍用道路 1 号線」とよばれたこの道路になかったものはどれか。

ア. 信号機 イ. 横断歩道 ウ. 中央分離帯 エ. 歩道

正解はウ。 緊急時に滑走路として使う。

9. ゴルフ場、商店街、劇場、将校クラブ (宴会場などがある) の位置を確認して赤で囲みなさい。ここでの支払いはどんなお金を使うのか。

ア. すべて円

イ. すべてアメリカ・ドル

ウ. 基地内だけ通用する特別券

正解はイ。

基地の中はアメリカ。撮影した基地の中の写真を見せる。



単身者用米軍住宅

カテナハイスクールの
の夜間照明つきのテ
ニスコート



10. 鳥塚はどのようにして嘉手納基地に入ったのか。

- ア. 知り合いの米兵宅訪問 イ. 基地フェスティバル（一般公開）に参加
ウ. 基地見学特別ツアーに参加 エ. 基地内のスポーツ大会に参加
正解はエ。

基地の中を 3km ほど走る「おきなわマラソン」の写真を見せる。ついでに完走証も。タイムは4時間 47 分 15 秒。沖縄のマラソンは沿道の人びとの応援が多く、歌あり、踊りあり、食べ物・飲み物の差し入れも豊富にあり、とにかく楽しい大会だった。

右手後方に将校倶楽
部の建物



11. 基地内の土地所有者は、現在どうあつかわれているのか。

- ア. タダでとりあげられている イ. 米軍が借地料を払っている
ウ. 日本政府が借地料を支払い、米軍に提供している

正解はウ。

占領直後はア、その後わずかばかりの借地料を払うようになった。

日本返還後はウ。基地の中に土地を持つ真栄城玄德さんと祖母カミさんのことを紹介する。地図で土地のある場所を示す。

1950年代なかばごろ、真栄城玄德は、祖母カミに連れられ、生まれ故郷の土地(沖縄市字森根)を訪ねた。米軍のゲートで許可証をもらい、嘉手納基地のフェンスの中に入った。「ここにはなー、桑畑があったさー、イトバショウも作っていたさー。サトウキビも芋も。母屋はこら辺りさー。畜舎の角には、おいしいみかんの木もあったさー。母屋の後ろにはなー、大きなくすぬち(くすのき)が何本もあったさー。あのくすぬちで、ダンスをつくるのを楽しみにしてたさー」と、屋敷の跡にたたずみ、祖母は語った。村アシビ(祭り)を楽しみ、共同の井戸を使い、正月には豚をつぶして隣近所で分けあったことも話した。

この土地は、カミが夫と死別した後、家事も農作業もこなし、子どもを育てながら、少しずつ買いあつめたものであった。沖縄戦で、カミの長男(玄德の父)は行方不明になり、帰ってこなかった。戦後、故郷にもどってみると、その土地はアメリカ軍の基地にされていた。玄德の母は、生計を立てるために、嘉手納弾薬庫で働いたこともある。

祖母からこの土地を相続した玄德は、土地提供の契約を拒否している。土地を使用している日本政府から支払われる損失補償金を使って、1998年に「くすぬち平和文化館」をつくった。子どもの姿を描いた壁画には、「ゆがふたぼーり」(「幸せが訪れますように」という意味)と名づけた。

(田中伸尚『ドキュメント憲法を奪回する人びと』岩波書店 2004年による)

* 森根集落の住民はすべての土地を基地にとられ、現在は他の土地に住んでいる。元の住民とその子孫は森根郷友会をつくり、ホームページも開いている。
http://www.geocities.jp/morine_777/index.html

くすぬち平和文化館
沖縄の城壁をイメージ
した



中に入ると
1階：子どもの本の店
2階：紙芝居劇場
3階：平和資料室がある



12. 嘉手納基地に住んでいるアメリカ人は何人くらいか。

軍人・軍属 8 千人。 その家族 1 万 1 千人。 計 1 万 9 千人。

13. アメリカ人の住宅の電気・ガス・水道などの経費は、誰が出すのか。

ア. 居住者 イ. 米軍 ウ. 日本政府 エ. アメリカと日本で半分ずつ
正解はウ。 思いやり予算。

2008 年に開校した「リュウキュウミドルスクール」(中学校)の建設費

は約 48 億円だった。すべて日本政府が「思いやり予算」で出した。面積は 8 ヘクタール。400 メートルトラック、照明付きのサッカー場、観覧席付きの競技場がある。なお、那覇市立真和志中学校の校庭はせまく、一辺が 50 メートルもないため、50 メートル走をする際には、運動場の対角線を利用して行うという。

14. 日本の国土に米軍基地を置くことを認めている条約を何というか。

正解は日米安全保障条約。

15. 現在、日本にある米軍基地の何%が沖縄県（国土面積の 0.6%）にあるか。

正解は 70%。

4 成果と課題

生徒は、嘉手納基地の大きさは、なじみのある東京ディズニーリゾートのせいぜい 2 倍くらいの広さと思っていた。実際には、10 倍の大きさであることを知り、とても驚いていた。また、基地というと、武器兵器がある軍事施設というイメージがあり、その中でアメリカ兵が生活していることはあまり意識していなかったようだ。そのため、基地の中に生活にかかわるさまざまな施設、運動競技場まであることにも驚いていた。特に基地の中を撮影した写真は強く印象に残ったようである。

この授業では、米軍基地内の土地が不動産として売買され、投機の対象とされているということには触れることができなかった。今後の課題である。

この授業の後、米軍基地をめぐる問題、米兵による犯罪や米軍機墜落事故などをとりあげ、現在の普天間基地返還問題と辺野古への新基地建設の動きへとつなげていった。嘉手納基地の事故では、1968 年 11 月 19 日におきた B52 戦略爆撃機の墜落事故をとりあげた。沖縄の新聞は教材として活用できる。

(公立高校教員)